

挨拶のあふれる町をめざして



ぼくたちの住んでいる和木のいいところは、地域の方がとてもやさしいということです。

登校時、地域の人に

「おはようございます。」

と、挨拶をすると

「おはよう。今日もいいあいさつじゃね。」

と、元気に返してくださいます。

また、ある時、ぼくが、落ち込んで一人で学校から帰っていたとき、

地域の人が、

「おかえり。元気がないけど何かあったん。」

と、心配して声をかけてくださいました。

ぼくは、話をしているうちにだんだん心がかくなくなり、そしていつのまにか元気になっていました。地域の方の挨拶や声かけはとても温かいです。挨拶をすると、必ず笑顔で挨拶を返してくださいるので、心にモヤモヤがあってもきれいさっぱりなくなり、また元気になります。ぼくは、地域の方々には、いつも感謝しています。そして、

「和木に住んでいてよかったな。」

と思いました。地域の方からいただいた元気を地域の方に返すためにも、ぼくは毎日、登下校のときに進んで挨拶をしています。これからも、みんなが助け合いながら住める和木の伝統を守っていきたいです。

そして挨拶を続けて

「和木は日本一挨拶の気持ちいい町だね。」

と言われるような町にしていきたいです。

わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介しす

—連載第4回—

歴史や自然のある町

私が住んでいる町、小泉町は、歴史や自然がたくさんある町です。

まず、歴史を感じさせるものとして、古墳や神社が多く残っています。特に、古墳が残っているというところは、大昔にはもうこの土地に人が住んでいたということだから、すごいことです。

また、小泉町には「龍泉寺」というお寺もあります。私は、この場所をお勧めします。理由は、二つあって、一つ目は、寺は白滝山の頂上にあり、毎年春の「一年生のお迎え遠足」で登山します。そして、八畳岩からは、小泉町の風景や、瀬戸内海が見渡せ、とてもきれいです。

二つ目の理由は、龍泉寺には、いろいろな言い伝えがあります。例えば、本堂にある「絵馬」は、その昔、絵からとび



出て村の田を荒らしていたそうです。また、頂上にある「鐘」が海賊に狙われたのですが、海賊は「鐘」を盗むのがむずかしいので、代わりに鐘の「いぼ」を持ち帰ったという言い伝えがあり、鐘には「いぼ」がありません。

次に、自然を感じることは、春（五月〜六月）道路わきにくさんのオオキンケイギクがオレンジ色の花を咲かせます。

このように、小泉町は歴史や自然がたくさんある町です。私は、この町が大好きです。みなさんも、ぜひ小泉町に来てみて下さい。